

平成 29 年度 焼津市自治基本条例

まちづくり市民集会・大ワールドカフェの報告

平成 30 年 1 月 13 日 (土) 実施

焼津市自治基本条例まちづくり市民集会 実行委員会

29 年度実行委員会からの報告 ～4 回目の「まちづくり市民集会」の成果

平成 30 年 1 月 13 日 (土) に焼津文化会館・小ホールにて開催した「まちづくり市民集会」では、10 代～70 代の市民、市長、市議会議員、市職員、専門家等、多様な世代・立場の 140 名を超える多くの方々にご参加いただくことができました。口コミを中心とした参加呼びかけのききもあり、年々、参加者が増えています。

改めて、まちづくり市民集会に関わっていただいた全ての皆様にお礼を申し上げます。

実行委員会では、市民集会の成果を今後のまちづくりに活かしていけるよう、市民・議会・行政の皆さんと共有するための振り返りの話し合いを行い、本報告にまとめました。

●「地域資源を活かしたまちづくり」について、たくさんの提案・ヒントが出ました。

24 のグループからたくさんの素晴らしい提案が出されました。それらの提案を「焼津の地域資源である、人、自然の恵み、地域の文化を活かし、つなぎ合わせるまちづくり」とまとめました。

ぜひそれぞれの立場で、今後のまちづくりに活かしていきましょう (3 ページに提案のまとめ、4 ページに全グループの「〇〇まちづくり」)。



会場を狭く感じるほど大勢の参加がありました



年齢や立場に関係なく熱く楽しく話し合いました

●様々な出会いの場、まちづくり実践者がつながる場に育ってきています。

参加者の中でも、特に高校生や大学生などの若者は、市民集会を元気ある場にしてくれました。県外からの参加者は、新鮮な視点を投げかけてくれます。また、話題提供者をはじめ、多くの地域活動や市民活動の実践者も参加し、市内各地・各分野のまちづくりキーパーソンが同じテーブルで初めて顔を合わせるなど、市民集会ならではの思わぬ出会いや新たなつながりが生まれています。

さらに、後日談として、市民集会の新聞記事がきっかけとなり、「月の沙漠」に取り組んでいるコーラスグループと話題提供を行った「月の沙漠」保存会がつながったという良い話もありました。

●世代や立場に関わらず「ここではなんでも言っているんだ」という雰囲気がありました。

今回の最大のハイライトは、閉会直後、高校生の男の子が突然、自らマイクを握った場面でした。「いつも部活動で焼津の皆さんにお世話になっています。これからもよろしくお願いします」と大勢の参加者に語りかけた姿に満場の拍手が送られました。

この若者らしい真っ直ぐな行動を通じて、「ここではなんでも言っていんだ」という雰囲気に参加者全体でつくり出せたことを、実行委員の私たち自身が教えてもらいました。私たちは、こうした新たな価値を生み出す取り組みに関わったことを誇りに感じるとともに、年齢も職業も地位も地域も関係なく「人のバリアフリー」の中で交流できる市民集会は、回を重ねながら、焼津の明るい未来づくりにきっと役立っていきたくらいだと思います。



●まちづくりの心やリーダーシップが自然と育まれる場になりつつあります。

大ワールドカフェでは、お互いを尊重し合う雰囲気の中で、多世代間の対話と交流を行うことができました。最後の発表では、グループの発表者となった多くの若者が「最初は緊張したがみんな優しく楽しかった」、「(年配者に) 焼津への愛や熱意を感じて良かった」などと振り返っていました。

若者は「熱くカッコいい大人」の姿を見て将来に夢を持てる、シニア世代は若者から元気をもらうなど、様々な参加者の間での情報や知恵やエネルギーの交換を通じて、まちづくりの心やリーダーシップが自然と育まれる場ができつつあるのだと思います。また、私たち実行委員も、市民集会の企画・準備や当日の運営に関わることで、多くの学びや成長の機会をいただいています。

●今後も「まちづくり市民集会」へのさらなるご参加・ご支援をお願いします。

アドバイザーの松下啓一先生は、この市民集会自体が全国的にも稀少なまちづくりの資源だとおっしゃっています。市民手づくりの「まちづくり市民集会」が年々発展しながら継続していけるよう、市民、議会、行政の皆様により積極的なご参加とご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

また、市長にも大ワールドカフェのテーブルに少しずつでも加わっていただければと、さらに有意義な対話の場となると思いますので、ぜひともよろしくお願いいたします。

「地域資源を活かしたまちづくり～焼津を愛して 地域を愛して」のまとめ

焼津の地域資源である、人、自然の恵み、地域の文化を活かし、つなぎ合わせるまちづくり

人を活かす

このまちで一番の地域資源は、口は悪いがおせっかいで、心あたたかな焼津の人々
若者も、新しく来た人も、誰もがとけ込みやすく、活動しやすい雰囲気をつくろう
子どもからお年寄りまでみんなが参加でき、声なき声も活かして、人が育つまちづくり

自然の恵みを活かす

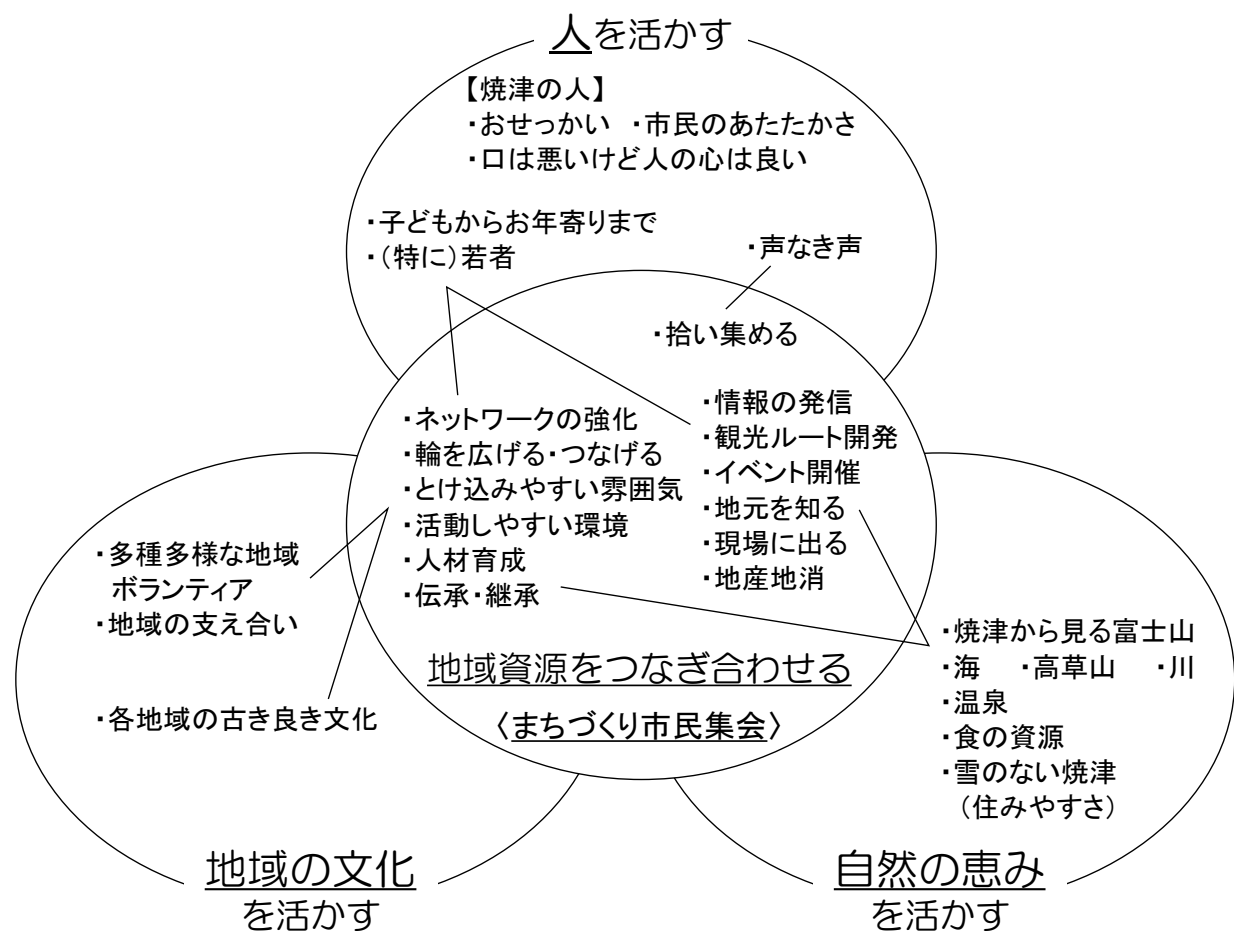
焼津から見える見事な富士山の眺め、高草山をはじめとする山、川、そして海
豊かな海産物と農産物に恵まれ、雪がない温暖で住みやすいまち
そんな焼津の良さをまずは地元の私たちが知ろう、味わおう、そして自分の言葉で発信しよう
ここにしかない魅力が詰まった観光ルートやイベントに、たくさんの人が集い、楽しむまちづくり

地域の文化を活かす

多種多様な地域ボランティアと地域の支え合い、各地域の古き良き文化
暮らしの豊かさや安心をつくる活動の輪を広げ、ネットワークをつくり、強めていこう
人から人へ、過去から未来へ、地域の文化を伝え、継承し、進化させていくまちづくり

地域資源をつなぎ合わせる

焼津の人、自然の恵み、地域の文化の良さに気づき、つなぎ合わせて、まちづくりを進めていこう



図：各グループから出された「地域資源を活かしたまちづくり」のキーワードの整理

大ワールドカフェ・24の全グループからの提案「〇〇まちづくり」

- ①おせっかいな ～世話好きな人が多い地域づくり～ まちづくり
- ②人と情報が『つながる』 まちづくり
- ③雪のない焼津と高草山を活かした まちづくり
- ④人材育成を中心とした ～若い人の意見を取り入れた～ まちづくり
- ⑤観光ルートを作って誰もが（障害者も外国人もお年寄りも）訪れやすい まちづくり
～地域資源（海、港、魚、温泉）ルート化
- ⑥焼津からの富士山、どこから見ても負けないぞ！／高草山を利用した駅伝前のプレイベント／しらす・桜エビをアピール／スタンプラリー復活で焼津を歩く／各高校の出店（駅前のシャッターをもりあげる まちづくり
- ⑦輪（和）を広げる つなげる まちづくり
- ⑧住みやすい／ロケーションが良い（富士山）／食の資源を活かした まちづくり
- ⑨イベントを開催して集客をする まちづくり
- ⑩面積が狭い分、それがかえって良く、人と人のつながりが強く、地域のネットワークも大変強い、口は悪いけど人の心は大変良い！ まちづくり
- ⑪各地域 伝承・継承を活かした まちづくり
～多種多様な豊富な資源、その地域ならではの資源を伝承・継承していく人材を育てていく
- ⑫多種多様なボランティアを資源として、超高齢化社会に対応するネットワーク作りをする。それを地域支え合い活動につなげる。若者にあまり負担をかけない健康寿命の延伸
まちづくり
- ⑬子どもから大人まで みんなで作る まちづくり
- ⑭市民のあたたかさを生かした まちづくり
- ⑮世界遺産 富士が呼んでる まちづくり
- ⑯市民参加型の発信力（PR 看板づくり） まちづくり
- ⑰地域の自然と高校生を繋ぐしくみづくり・調整 魅力ある地元にする まちづくり
- ⑱若い人が地域にとけ込みやすい まちづくり
- ⑲高草山の自然を生かしたまちづくり
～富士山と駿河湾の眺望、歴史的背景、イベント、周辺住民（東益津公民館）との協力
- ⑳子どもと一緒に！焼津の現場に出かけよう！ 未来につなげる まちづくり
- ㉑若者が活動しやすく 声なき声を拾う 地域に見合った まちづくり
- ㉒富士山の景観を生かした まちづくり
- ㉓古き良き伝統や文化を活かした まちづくり
- ㉔海と富士山と特産物を活かした 地産地消の まちづくり